

2016 年度支援報告

1. 定期支援

2016 年度も、支援期間に応じて金額を分けて送金しました。

↓ サーバシ・チャム小学校での支援金受領風景



↓ ンジャウ・マリック小学校の子どもたち



(1) 2013 年度以前からの支援校・グループ（支援開始後 3 年以上経過）

サルム・ジャネ小学校	40,000円
サーバシ・チャム小学校	40,000円
ンジャゴ小学校	40,000円
クール・マジャベル小学校	40,000円
ンジャウ・マリック小学校	40,000円
障がい児を支援する教師の会	40,000円
サルム・ジャネ中学校	80,000円
サーバシ・チャムアラブ学校	20,000円

(2) 2014 年度以降からの支援校（支援開始後、3 年未満）

バンブガール・マサンバ小学校	50,000円
ンガティ・ナウデ小学校	50,000円
ンガティ・オルディ小学校	50,000円
ユネスコクラブ聾啞学校	50,000円
ジム・モマール・ゲイ中学校	100,000円

2. アラサン・ゲイ君に車椅子を贈る

アラサン・ゲイ君はンジャゴ小学校の生徒で、セネガルでも稀なことだそうですが、馬に噛まれて右足を失いました。それにも負けず、熱心に勉学に励むゲイ君に、バオバブの会では、2012年と2015年の2回、松葉杖を贈ってきました。

2016年秋には中学校に進学し、さらに遠距離を通学することになったため、車椅子が欲しいという要請がありました。そこで、車椅子（200,000Fcfa、日本円で36,000円の背宛てシート付き車椅子）を贈りました。

車椅子が到着



車椅子に乗ったゲイ君を囲んで。学校の先生、ゲイ君のご家族の皆さん。



3. セネガル訪問

3月24日から25日にかけて、ジム・モマール・ゲイ中学校、サルム・ジャネ中学校、サルム・ジャネ小学校、ンジャウ・マリック小学校、サーバシ・チャム小学校、バンブガール・マサンバ小学校を訪問。また、3月30日にはサーバシ・チャムアラブ学校、そしてバンブガール・マサンバ小学校を再訪しました。各学校では、視察と、日本の代表的な学校行事である運動会紹介を行いました。

また、3月28日にはケベメールの女性グループ JIGEEN ÑU FARLU (ジゲン・ヌファルルー) を、4月1日には教育省を訪問しました。

サルム・ジャネ中学校で生徒たちを激励



身振り手振りを交え、運動会を紹介 (サーバシ・チャム小学校)

